

数万円ものプレミア付きで取引されていた幻の名著、ついに復刊！

## 『日本教の社会学』

ふたりの碩学による白熱の議論と日本を読み解くカギがここに！！

(著者)小室直樹、山本七平

(価格)1,900 円＋税 (発売日)2016 年 11 月 25 日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2016 年 11 月 25 日に、『日本教の社会学』を発売いたしました。

本書は 1981 年 12 月に講談社より刊行された『日本教の社会学』の復刻版です。

キリスト教徒として独自の観点から日本、そして日本人を分析し、イザヤ・ベンダサン名で発表した『日本人とユダヤ人』が 300 万部を超えるベストセラーとなった山本七平。政治、経済、社会学はもとより、神学、宗教学、そして数学、物理学とあらゆるジャンルに精通した小室直樹。この日本を代表する二人の碩学が、山本七平が唱えた「日本教」という概念を巡って繰り広げた白熱の議論をまとめたのが本書です。ネットの古本サイトでは数万円で取り引きされるなど、絶版以来、入手困難だった幻の名著がついに復刊されました。

その内容は、日本教という概念から日本の社会の本質をとらえ直すというものです。

小室氏によると議論は次の点から始まります。「日本人は誰しも、日本が普通の社会であり、外国もまあこんなものかと思込んでしまっている。ところがどうして、世界中で日本ほど奇妙キテレツな社会はなく、外国人とはどうしても理解しあえない。中国・朝鮮と欧米諸国とはずいぶん違った社会だが、欧米人と中国人・朝鮮人とは割合に容易に理解しあえてしまう。が、日本人だけは例外だ」。ではなぜ、そうなのか。それは山本氏が分析したように「日本教というメガ宗教が日本を支配しているから」だとい

います。しかも、「日本人はものを考えるときに、論理で考えずにフィーリングで感じとってしまう。われわれは、このようにして何千年も生きてきたし、今もそうなのだ。たぐいえない変則社会である」にもかかわらず、日本人自体がこのことを理解できていないので、「欧米や中国や中近東などでは絶対あり得ないことがいとも容易に起こってしまう」のです。

そこで、山本七平がつくりあげた「日本教」「空気」「実態語と空体語」といった概念を使って日本社会の特質を解き明かしていきます。

戦前日本は軍国主義国家ではなく、また戦後日本は民主主義国家ではなかったなど、日によっては 18～20 時間もの長きにわたって繰り広げた二人の議論から生まれた数々の分析結果は、日本を理解するうえで避けてはならない重要なポイントの数々を指し示しています。本書の初版は 1981 年と今から 35 年も前のことですが、その内容はまったく色あせていないどころか、ますます日本の現代社会の問題を浮かび上がらせています。日本とは何なのか。また、日本人とは何なのか。山本七平・小室直樹ファンはもとより、日本の今、そして未来に興味があるすべての人必読の書の復活です。

### <本書の内容>

第 1 部 日本社会の戦前、戦後

第一章 戦後日本は民主主義国家ではない

第二章 戦前日本は軍国主義国家ではない

第 2 部 神学としての日本教

第三章 宗教へのコメント



第四章 日本教の教義  
第五章 日本教の救済儀礼  
第六章 日本教における神義論  
第七章 日本教ファンダメンタリズム  
第3部 現代日本社会の成立と日本教の倫理  
第八章 日本資本主義の精神  
第九章 日本資本主義の基盤——崎門の学

著者：山本七平（やまもと・しちへい）

1921年東京生まれ。1942年、青山学院高等商業学部を卒業。野砲少尉としてマニラで戦い、捕虜となる。戦後、山本書店を創設し、聖書学関係の出版に携わる。1970年、イザヤ・ベンダサン名で出版した『日本人とユダヤ人』が300万部のベストセラーに。以後、「日本人論」で社会に大きな影響を与えてきた。その日本文化と社会を分析する独自の論考は「山本学」と称される。評論家。山本書店店主。1991年逝去。著書には『私の中の日本軍』『「空気」の研究』（以上、文藝春秋）、『日本はなぜ敗れるのか』（角川書店）、『帝王学』（日本経済新聞社）、『昭和天皇の研究』（祥伝社）、『山本七平の日本の歴史』（ビジネス社）など多数。

著者：小室直樹（こむろ・なおき）

1932年東京生まれ。京都大学理学部数学科卒業。大阪大学大学院経済学研究科、東京大学大学院法学政治学研究科修了（東京大学法学博士）。この間、フルブライト留学生として、ミシガン大学、マサチューセッツ工科大学、ハーバード大学各大学院で研究生活を送る。2010年逝去。著書に『ソビエト帝国の崩壊』（光文社）、『「天皇」の原理』（文藝春秋）、『日本の敗因』（講談社）、『日本人のための宗教原論』（徳間書店）、『日本人のためのイスラム原論』（集英社インターナショナル）、『日本人のための経済原論』『数学嫌いな人のための数学』（以上、東洋経済新報社）、『天皇畏るべし』『日本はまだ近代国家に非ず』（以上ビジネス社）ほか多数。

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603